



学校教育目標 社会に貢献しながら、  
自立する生徒の育成  
～気づき、考え、実行する～

# やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある  
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 健やかな身体の育成
- ④ 豊かな心の育成
- ⑤ 生徒の良さを伸ばし、課題を  
解決するための「連携・協働」を推進する



## 祝卒業

3年生の皆さんが卒業すると、昨日までまわりに仲間がいて、ワイワイガヤガヤといった、日常のごく一場面だった風景が、不思議なことに、誰もいなくなって静まり返る……。皆さんの笑顔が、この学校やこの教室から消えてしまうと思うと、やはり寂しくなってきました。今回は“旅立ちの日にあなたへ”贈る卒業特集号です。

1年前の4月、私は偶然、皆さんと出会い、校長として過ごしてきました。振り返ってみると、様々な思い出をつくることができました。この1年間、皆さんの成長ぶりは激しくて、驚きとビックリ(同じ意味?)の連続でした。本当に「大人(物事を、自分自身のこととして受け止め、行動に移し責任を果たすことのできる人。また、失敗したことや間違ったことを、ちゃんと受け止め、誠意のある対応ができる人)になったなあ～」と感心しています。△△さん、あなたの態度・姿勢は、みんなのお手本ですよ。授業では、落ち着いた態度で臨んでくれました。活気があり、時には楽しく、頑張りましたね。〇〇さん、真剣に見つめる瞳が素敵でしたよ。最上級生として迎えた第50回若鮎祭。様々な場面でリーダーシップを発揮してくれました。★★さん、太鼓演奏カッコよかったです。そして、進路選択では、自分の進路を自分で決めることの難しさ、大切さを実感したことでしょう。☆☆さん、納得の進路選択です。どうぞこれからも、自分の夢を実現するため、自分の選んだ道を信じて“前へ 前へ”と進んでいってくださいね。

ところで校長の私ですが、少しは皆さんの役に立てたでしょうか。私は「人が自分の素晴らしさを発見して自ら輝いていく」のを見るのが大好きです。他人に変えさせられるのではなくて、自らを変えていく生き方のことです。皆さんがキラキラと光輝く、そのお手伝いと応援をしたかったのですが、どの位できたでしょうか。

## 卒業生の保護者の皆様へ

三寒四温の字の如く、日に日に春の気配が感じられる季節となりました。このよき日、道志中を巣立っていく生徒たちは、本当に幸せだなと感じます。お子様のご

卒業、おめでとうございます。

本来、子供たちが9年間の義務教育を終え、新たな人生の舞台に踏み出すこの日は、とてもめでたい日なのですが、少しずつ荷物の減っていく教室をみると、喜びよりも寂しさを感じずにはいられません。それと同時に、そんな思いが残る出会いができたことは、私たちの宝物の一つだと思います。子供たちも私たちも、また新たな出会いを経験するために、来週の卒業証書授与式を、しっかりと迎えなくてはならないと思っています。

中学校生活の中で、子供たちは、外見も内面も大きく成長しました。まっすぐな伸び方ばかりではなかったもので、いろんな場面で、私たち大人(保護者や先生)と、また子供たち同士の中でぶつかることもあったことでしょう。そんな日々の中から“自分らしさ”を学び、“人とのつながり方”を学び、“自分の未来の見つめ方”を学んでくれたことと思います。まだまだ学びの途中であることを自覚し、新しいステージでそれぞれの力を、さらに伸ばしていってほしいです。

特にこの一年、保護者の皆様は、子供の進路について、気が気でない日々を過ごしたことと思います。私たちは、進路を考える上で、最終的には、子供たち“**本人が決める**”を大原則とし“**子供の気持ちを第一に**”と心して臨んだのですが、いかがだったでしょうか。

当の子供たちですが、立派に自分の進路を、自分で決めてくれているようです。そして、大人への一步を踏み出しています。そんな子供たちの卒業を、保護者の皆様と一緒に祝いしたいと思います。

## 卒業生の心 本日は晴天なり

最後になりました。心から“**ありがとう さようなら 3年生の皆さん**”と言いたいです。保護者の皆様にも“ありがとうございました。どうぞ、これからも子供たちのことをいっぱい応援してやってください”とお願ひしたいです。“別れ”は“別の道への第一歩”です。楽しい人生を送ってください。いよいよ、さようならです。イイ思い出をありがとう。来週は、いよいよ第78回卒業証書授与式。外は、暖かい春の日ざし、いや雨か雪かも。旅立ちの日、卒業生の心、本日は晴天なり。